

Newsletter

Vol.24 2014.7.10

日本養護教諭養成大学協議会

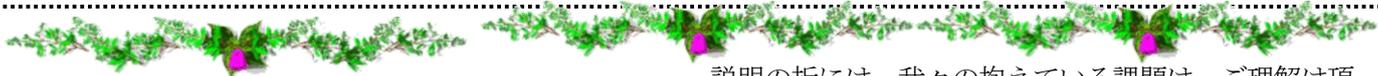
日本養護教諭養成大学協議会

ニューズレターVol.24

会 長 岡田加奈子 (千葉大学)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	総会・養成教育フォーラムのお知らせ・・・・・・・・ 5
各種委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	協議会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
養成大学の展望 大学紹介ー北から南ー・・・・ 3	事務局からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
養成教育セミナーのお知らせ・・・・・・・・・・ 4	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6



文部科学省に要望書を提出
ー教育職員免許法「養護に
関する科目」の改正に向けてー

会長
岡田 加奈子(千葉大学)

2014年3月20日、荒木田美香子副会長と共に文部科学省を訪問し、免許法改正の要望書を文部科学大臣あてに提出いたしました。タイミングよく6月には、すでに本協議会のメーリングリストでもお知らせいたしましたように、「文部科学省は、義務教育の教員免許制度を抜本的に改革する方針を固め、小中学校の両方で教えられる免許を新設するほか、校長らの管理職登用は大学院での研修を条件とすることも検討。7月にも中央教育審議会に諮問して制度設計を進め、来年の通常国会で教育職員免許法の改正案を提出する方針」といったニュースが流れました。

昨年2013年9月末に、文部科学省に伺い、養護教諭養成に関わる「教育職員免許法」の課題についての説明を、坂東久美子文部科学審議官、「初等中等教育局教職員課長 高口努様」、「高等教育局大学振興課長 里美朋香様」、「スポーツ・青少年局 学校健康教育課長 大路正浩様」に伺った際にも、他の免許法改正と同時であればチャンスはあるというお話を頂いておりましたので、追い風を感じました。ただ、文部科学省

説明の折には、我々の抱えている課題は、ご理解は頂いたものの、重要な質問やご意見もいただきました。一例では「教育職員免許法が仮に改正された場合、それに基づく具体的なカリキュラム案はあるのか」「また、大学教員はそれを教えられるのか」「現場の養護教諭はどのように思っているのか」などです。つまり、免許法が改正されるのであれば、現場の養護教諭のニーズに一致していなければなりませんし、免許法が改正された時に具体的に実施できるカリキュラムやそれを行う人材の育成を行っておかないと、いけないということです。そのあたりは、「ある」「できる」と明言できるもの（武器）を持っておかないと、免許法改正の後押しはできないと感じました。

今回の要望書では、具体的な改正案の提案はできませんでしたが、できるだけ早い段階で具体的な改正案の提案を行いたいと考えております。そのために、一昨年より継続審議している免許法改正についての具体的な検討を行っております。

以前提案した「養護に関する科目」の28単位だけでは、専門性を担保する単位数としてはどうしても足りず、「養護又は教職に関する科目」7単位を含めて、検討しております。

2014年2月・6月の拡大役員会では、役員に加え、各種委員会委員にご参加いただき、改定案の検討を行いました。さらに、会員の皆様にご意見を頂き、免許法改正に向けた、最終案を構築したいと考えております。皆様のご理解とご支援を賜りたく存じます。



各種委員会報告

「養成制度検討委員会」 活動報告

委員長 鈴木 裕子
(国士舘大学)

今年度第1回の委員会として、6月1日(日)の拡大役員会に参加しました。カリキュラム委員会が検討している教育職員免許法施行規則第9条の「養護に関する科目」改定案について、協議を行いました。

第2回は6月22日(日)に東京で開催しました。三委員会の輪番で担当する「養成教育セミナー」の今年度企画および運営などについて検討しました。そのほか、教諭の免許取得パターンの見直しが具体的に検討され始めた中央教育審議会教員養成部会の資料を参考に意見交換を行いました。資料の「高度専門免許取得」や「教職に関する科目」の見直し案において「特別支援、養護教諭、栄養教諭は別途検討」とする記述等に着目し、動向を見極める必要があることを確認しました。そして今後に向けて、養護教諭免許制度に関する古典的な問題も含め、課題と望ましいあり方を明確にしていくことを確認しました。

「カリキュラム検討委員会」 活動報告

委員長 大原 榮子
(名古屋学芸大学短期大学部)

2014年度カリキュラム検討委員会は、昨年度末に最新の科目改正案についてまとめ、理事会に提案しました。その後、今年度第1回の拡大理事会(理事会に3委員会の委員が参加)で経過説明と案について検討をしました。理事および各委員会の委員より多くの意見をいただき、カリキュラム検討委員会での話し合いを更に深める会議となりました。

これまで免許法改正については、流動的な状況であると捉えてきていましたが、この6月5日付けの毎日新聞に「教員免許改革:小中兼用を新設 文科省、中教

審へ諮問へ」という見出しで、文部科学省は、義務教育の教員免許制度を抜本的に改革する方針を固めたという報道がありました。

カリキュラム検討委員会では、この流れの中で、協議会としての科目改正案の提案ができるよう、また今年度の9月に開催するフォーラムで免許法関係の提案・協議が行えるよう、その準備を6月22日(日)及び7月19日(土)に計画しています。

今年は、委員会3年間のまとめの年です。会員大学の一層のご協力とご支援をお願いいたします。

「FD 検討委員会」 活動報告

委員長 荒木田 美香子
(国際医療福祉大学)

FD 委員会は「養護教諭養成に関する倫理教育の充実」をテーマとし、3年目の活動となります。引き続き、10人の委員で活動していきます。2013年度は3回の委員会を開催し、委員が自大学で養護教諭の倫理教育を行いました。第2・3回の委員会ではその実践報告と模擬授業を行い、指導案を検討・精練しました。この成果の一部を2014年の養成教育セミナーで発表させていただく予定です。

さらに2014年度には「養護教諭の倫理教育に関するカリキュラム案」を検討し、アンケートなどで会員の皆様のご意見を聞いた上で、提案させていただきたいと考えております。



2013年度の各種委員会の取り組みにつきましては、総会時に配布いたします「日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書(2013年度)」をご覧ください。

養成大学の展望

大学紹介 北から南

群馬医療福祉大学 看護学部

豊島幸子

群馬医療福祉大学看護学部は、「仁」の精神を建学の精神とし、教育理念の「知行合一」、教育目標の「奉仕の精神」・「環境美化」・「礼の実践」を基盤に、看護師・保健師国家資格ならびに養護教諭一種免許状取得が可能な看護系大学として2010年に設置されました。

本看護学部の特色は、①学術としての「看護学」の大学高等教育 ②建学の精神「知行合一」のもと、「看護学」の教育による看護師・保健師の専門職者の養成 ③福祉と連携できる専門職者の養成 ④大学が存在する藤岡市との地域連携 ⑤学校保健の支援推進者育成を具現化し、学校保健・推進者になり得る養護教諭一種免許取得が可能な教育課程も組み立てられています。

2013年度に第一期生が84名卒業し、84名中21名が養護教諭一種免許状を取得しました。このうち2名が、より高い専門性の修得や養護教諭専修免許状取得のため大学院へ進学しました。

養護教諭としての就職は、臨時的任用教員として1名が県立高校に赴任しております。大学卒業後、直ちに養護教諭を職業選択する学生は少数であり、看護師としての臨床経験を踏まえて養護教諭として働きたいという学生が大多数を占めます。養護教諭の採用では、各都道府県の採用枠が少なく、採用試験の倍率が高い状況ですが、一人でも多くの養護教諭を志望する学生に対して、希望が叶えられるよう継続支援を行います。

新しい大学として、新たな歴史を構築するとともに実力のある学生の養成に、今後とも努力いたします。



京都女子大学 家政学部 生活福祉学科 鹿間久美子

本学の歴史は114年前に遡り、大学は1920年に設置されました。文学部・発達教育学部・現代社会学部・法学部・家政学部があり、2004年に生活福祉学科が増設されました。キャンパスは、京都の名所三十三間堂と清水寺や祇園も徒歩圏内で、東山裾に広がる歴史と文化に囲まれた静かな環境です。学生は全国各地から集まり、授業の姿勢は真面目で謙虚、真剣に勉強します。

建学の精神の「心の教育」、女性の地位向上や活躍の場を求めて、学んだ卒業生は16万人を超え、教育・芸術・産業・政治など様々な分野で活躍しています。また、キャリアセンター・教職支援センターなどで早い時期から学生の希望に添った支援を行っています。

養護教諭の養成を担当する生活福祉学科では、卒業時に社会福祉士と介護福祉士の国家試験受験資格も得られます。また、中学校「家庭」・高校「家庭」「福祉」の一種免許状の取得課程も設置しているので、関連し合う分野を横断的に学び、福祉を総合的に捉える中で将来の可能性を広げます。複数の教員免許状や社会福祉士取得を目指して努力している学生が数多くいます。

養護教諭を目指す学生の卒業論文のテーマは、「中学生の生活習慣・家族関係と自己肯定感の関係について」「保健室登校の児童生徒に対する効果的支援～養護教諭へのインタビュー調査からの検討～」 「学校教育における不登校児支援に関する国際比較」などです。

次に卒業生のAさんの大学生活をご紹介します。

- 1 回生：5限目まで詰まった授業を受ける中で、養護教諭を目指す友だちの輪が広がった。
- 2 回生：夏休みに病院実習や福祉臨床実習参加。学校ボランティアや採用試験対策も開始。
- 3 回生：ゼミで卒業研究に力を入れつつ採用試験対策、京都市教師塾や学校ボランティアにも参加し腕を磨く。
- 4 回生：教育実習で養護教諭への希望増大！仲間と勉強会、教育支援センターで面接対策、結果現役合格。彼女は、「養護教諭という夢のスタート、生徒が弱音を言える保健室をつくる」を目標に励んでいます。

本学科からは、毎年20名以上の学生が養護教諭として旅立ちます。彼女のように真剣に頑張る学生に応えることができる歴史と伝統、そして「心の教育」を奉じる大学として誇りを持って教育に当たっています。



国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科 保健医療学専攻
看護学分野 荒木田美香子

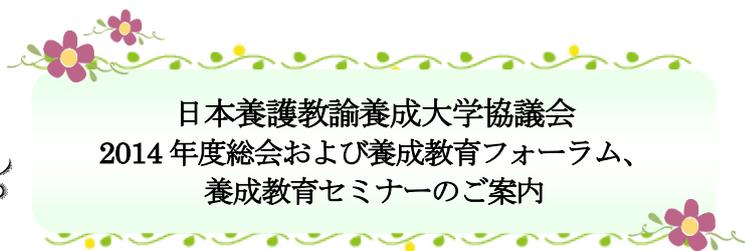


国際医療福祉大学は「共に生きる」を建学の精神をとし、1995年に栃木県大田原に開設されました。看護学科は大田原、小田原、福岡の3キャンパスにあります。大学院は1999年に東京都港区に開設されました。小田原保健医療学部は2006年に開設され、その後2011年に養護教諭一種免許状教育課程を開設し、同時に大学院にも養護教諭専修免許状教育課程の認可を受けました。学部では1学年定員の約半数の30名が養護教諭一種免許状を選択しています。学部の卒業生の多くは看護師として就職をするため、直接大学院に進むものはほとんどいません。

本学の専修免許状課程は医療福祉学研究科保健医療学専攻看護学分野に位置づいています。具体的には公衆衛生看護学と小児看護学生を専攻するものが取得できる様にコース設計しています。本学の大学院は働きながら修士・博士を取得できるようなカリキュラムが特徴です。そのため保健師免許を取得し養護教諭二種免許状を持っている社会人が大学院で、専修免許状の取得を目指すというケースにも対応しています。

これまでに、大学院（修士・博士）に在籍し、養護教諭二種免許状から一種免許状を取り、専修免許状を取得した院生4人と、養護教諭一種免許状を持ち大学院で専修免許を取得した1人が専修免許状取得者の実績です。養護教諭二種免許状保有者は、1単位の教育（養護）実習を含む学部の科目を履修することにより一種免許状を取得し、加えて大学院での必要単位の取得及び研究を終えて、大学院の修了と専修免許状を取得するということになります。

特別の養護教諭専修免許コースを設けているわけではありませんので、年に1人か2人専修免許状を希望する学生が出るということが現実であり、大学院においてはマイナーな存在であるという事は否めません。しかし、看護学分野以外の心理学分野、リハビリテーション学分野、医療福祉学分野などの多様な専門分野から科目を履修することができます。また社会人経験者が多く、実践に基づいたさまざまな観点から活発なディスカッションの中で学習できるのが本学で学ぶメリットだと言えます。学位取得後は大学の教員や現職養護教諭として活躍を続けています。



日本養護教諭養成大学協議会
2014年度総会および養成教育フォーラム、
養成教育セミナーのご案内

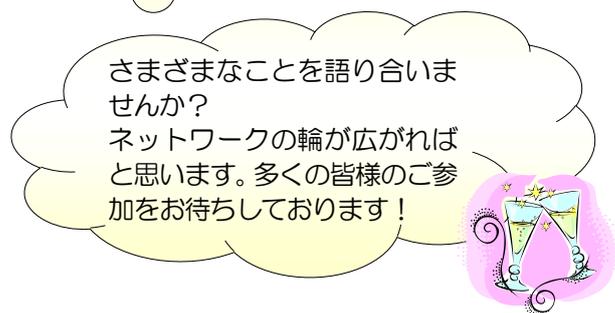
★養成教育セミナー★

- ◆日時：2013年9月4日（木） 13:30～16:30
(13:00～受付)
- ◆場所：東京ウィメンズプラザ
(〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67)
- ◆テーマ：養護教諭養成における実践力育成に向けた取り組み
- ◆内容
 - ① 教職実践演習の実際
報告：小林央美（弘前大学）
 - ② 養護教諭養成における倫理教育
報告：FD 検討委員会
(荒木田美香子、亀崎路子、鹿間久美子)
 - ③ グループ討議

*会員大学に所属する希望者はどなたでも参加できます。総会・養成教育フォーラムとあわせて参加申込用紙にてお申込みください。

懇親会のお知らせ

日時 9月4日（木） 17:00～19:00
会場 表参道ハロルドアンドコー
(東京都港区北青山 3-6-23 青山ダイハンビル B1F)
Tel 03-3498-9777 (セミナー会場から3分)
会費 1人 4500円



さまざまなことを語り合いませんか？
ネットワークの輪が広がれば
と思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております！

★総会および養成教育フォーラム★

- ◆日時：
2014年9月5日(金) 10:00~16:15 (受付 9:30~)
総会・養成教育フォーラム
- ◆場所：東京ウィメンズプラザ
(〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67)
- ◆内容：
 - 第一部 2014年度 総会
 - 第二部 委員会報告：教育課程検討委員会
養成制度検討委員会
FD検討委員会
 - 第三部 講演
講師 文部科学省教職員課長 高口努氏
 - 第四部 討論

昨年度の会場が閉館となり、今年は別の会場となりました。会員の皆さんにはご迷惑をおかけして申し訳ありません。

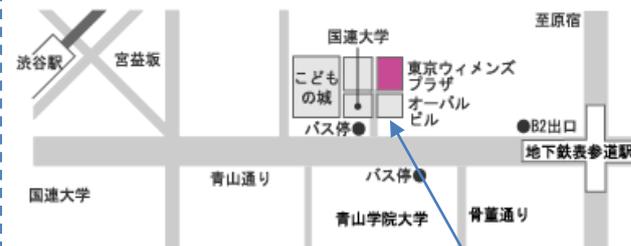
今年度は上記の日程で、これまでとは異なる会場で開催いたします。最寄駅は東京メトロ表参道駅（JR渋谷駅利用も可）となります。

5日（金）の総会は原則としてすべての会員大学のご参加をお願いいたします。また総会後の養成教育フォーラムでは、教員養成に関する動向をふまえながら、養護教諭養成カリキュラムについて協議を深めます。教員免許制度や教職課程の見直しについての検討が進められる中、養護教諭養成はどうあるべきか共に考えましょう。

総会前日の9月4日（木）は、昨年好評だった養成教育セミナーを開催します。こちらは希望参加となります。また、セミナー後は懇親会を計画しております。詳細につきましてはニューズレター同封の案内をご参照ください。



【東京ウィメンズプラザ・ホール】



渋谷区神宮前 5-53-67
東京ウィメンズプラザ B1
表参道駅 B2 出口より徒歩7分。
国連大学手前を右周に入り 50m ほど歩いてください。
青山通り（国連 246 号線）オーバルビルの前にあるこの看板が目印です。



協議会活動報告
事務局 鈴木 裕子（国士舘大学）

【2013年度第6回役員会】

日時：2014年2月28日（金）10:30~13:30
場所：青山一丁目タワービル
出席者：荒木田、今野、大原、岡田、後藤、櫻田、宍戸、鈴木

議事：「2014年度計画等」；2014年度のスケジュール、送付書類、予算案等について確認した。「2014年度総会・養成教育フォーラム・養成教育セミナー準備」；会場や企画について検討した。会発足からの期間を再確認し、10周年企画は、2015年度に行うこととした。「理事等の補充について」；年度末で退任する役員への補充を規約に沿って行うことを確認した。「役員選挙について」；選挙管理委員会の準備状況について報告があり、選挙権は2013年度会費納入大学であることを確認した。その他、事業活動報告書の作成、各委員会からの報告、ニューズレターの発行およびホームページの更新等について確認した。

【2014年度第1回役員会】

日時：2014年6月1日（日）10:30~13:00
場所：キャンパスイノベーションセンター東京
出席者：荒木田、池添、今野、大原、岡田、後藤、櫻田、宍戸、鈴木、津島、三村
議事：退任した後藤理事に代わり、規約に従い三村由香里氏を新理事として総会で承認を得ることとした。「2014年度総会・養成教育フォーラム・セミナーにつ

いて」;企画および総会議案の検討、会場確保および役割分担等の確認を行った。養成教育フォーラムでは検討等教免法の改正をにらみカリキュラム改正案についての協議を行うこととした。その他、各係および各委員会の活動報告等を行った。

【2014年度第1回拡大役員会】

第1回役員会の午後、役員のほか各検討委員会の委員を加え、カリキュラム委員会にて検討中の養護教諭養成における「養護に関する科目」の改定案について協議を行った。今後、この改定案について会員校の意見聴取を行うとともに、養成教育フォーラムでも協議することを確認した。

事務局からのお知らせ

2014年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーの案内を同封しました。代表評議員様宛にメールでも送信しました。総会を欠席される場合は、委任状の提出をお願いいたします。参加申し込みは8月1日までお願いいたします。

事務局 櫻田淳

ホームページ更新について

日本養護教諭養成大学協議会ホームページにつきましては、ニュースレターおよび会議予定等について更新いたしました。ぜひご覧ください。なお、5月にはセキュリティの問題が発生し、更新まで時間がかかりましたことを改めてお詫び申し上げます。

今後でもできるかぎり迅速な更新に努めてまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

ホームページ担当：今野 洋子（北翔大学）

ホームページアドレス

日本養護教諭養成大学協議会

<http://www.j-yogo.jp/>



会計よりお願い

会計業務は昨年度に引き続き荒木田美香子副会長と津島ひろ江理事が担当させていただきます。各大学から納入されました貴重な会費をこれまで同様、大切に管理していきますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

昨年度は、皆様のご協力で会費を全大学の116校から納めていただきました。また、皆様が節約を心がけてくださったおかげで予定通りの支出ができました。

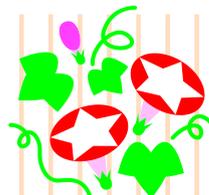
会費納入につきましては8月1日時点で会費が納入されていない場合は、総会での決議権がなくなりますので、できるだけ7月22日（火）頃までに会費の納入をお願いいたします。

会計担当：荒木田美香子（国際医療福祉大学）
津島 ひろ江（川崎医療福祉大学）

☆☆ 編集後記 ☆☆

昨年度に引き続きニュースレターを担当させていただくことになりました。児童生徒の心身の健康課題の多様化・複雑化に伴い、専門性を有する養護教諭の質の高い実践が求められています。養護教諭の専門性とは何か、養成大学としてどのような資質・能力を身につけた養護教諭を育てていくのかなど、ニュースレターをとおして、養護教諭養成に関する情報を発信し、ともに考えていくことができればと思っております。会員校の皆様とのネットワークづくりを大切に、養成大学としての役割と使命を認識して、より充実したニュースレター作成に取り組んでいきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくをお願いいたします。

宍戸 洲美（帝京短期大学）
池添 志乃（高知県立大学）



【事務局】 埼玉県立大学 櫻田 淳
Fax : 048-973-4374 (事務局専用)
Tel : 048-973-4326 (櫻田研究室)
E-mail : yogogimu@spu.ac.jp